

# 稲作カレンダー 一年

1月 土づくり

2月 土づくり

3月 種まき  
苗づくり



寒さから苗を守るパイプハウスなどで10～20日まで育てます。

4月 代かき  
田植え



肥料をまいてトラクターで土をかき混ぜる代かきの後、田植えを行います。

5月 肥料散布  
除草

6月 除草



日光を遮り、稲の生育の妨げとなる雑草などの雑草を定期的に除草します。

7月 中干し  
除草



酸素を土の中に取り入れて根を強くするため、水を抜き田を乾かします。

8月 肥料散布  
病害虫駆除  
除草  
稲刈り

9月 稲刈り



コンバインで稲を根元から刈り取り、稲から籾を分離する脱穀を行います。

10月 土づくり

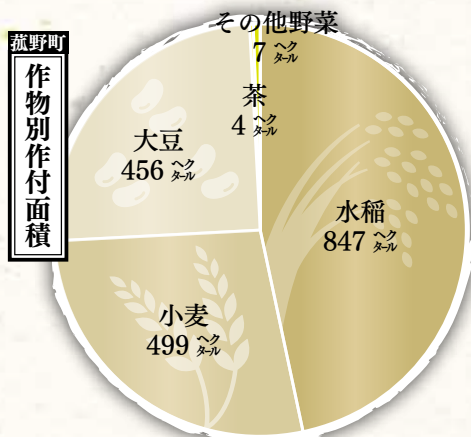
11月 土づくり

12月 土づくり

※生産スケジュールは生産者によって異なる場合があります。

ンを行っている農地がほとんどで、水稲は4月末から5月中旬にかけて田植えが行われています。農作業全般の機械化が進んだことで負担は軽減されているとは言え、広大な水田に田植えをすることは大変な重労働で、現在でも家族や親戚、近隣住民など総出で田植え作業を行っている生産者も多くあります。

稲が育つ環境には、きれいな水が不可欠であり、鈴鹿山系からの豊富な水に恵まれた孤野町は稲作に適した土地であると言えます。夏の間に強い日差しを浴びて稲は大きく伸び、初秋には黄金色の稲穂を実らせます。稲刈りは、主に8月から9月にかけて行われています。



出典 農林水産省(2020年農林業センサス)

特集

# 黄金色の恵み GOLDEN HARVEST

こがねいろ 陽光を浴び黄金色に輝く田園

自然の恵みに感謝し

収穫に歓喜する秋



## 秋の訪れ 黄金色の季節

一面に広がる黄金色に染まった田んぼ。秋風に吹かれて揺れる稲穂は、町内各地で見ることが出来る秋の原風景です。

古くから農業のまちとして発展してきた孤野町は、現在も町域の約18%を農地が占め、米や小麦をはじめとして大豆や白菜、さといも、ねぎといったさまざまな農作物を生産しています。

今月号では、「黄金色」をテーマに孤野町が誇る地元米や新たに商品化を果たした特産品についてご紹介したいと思います。秋の日差しをたっぷり浴びて黄金色に輝く特産品の数々を少しでも味わってみたいと思っただければ幸いです。

## 鈴鹿山系の水に育まれる稲

**町** 内の農地の中でも水田は約86%を占め、その水田で生産される水稲は約4150トにもなります。

町内では、年によって生産する作物を水稲、小麦、大豆と変える2年3作のブロックローテーション